



初めての  
茶碗づくり

抹茶茶碗を作るのは難しい。まず思うようには作れない。ならばプロに手取り足取り付いてもらえば出来るかも…。出来たのがこの茶碗。先生の指導のおかげで何とかあった。大袈裟に言えば我が人生が、この茶碗に集約されている。

二木屋主人 小林玖仁男

「抹茶茶碗づくり」の陶芸教室は、全3回コースです。  
1回目は、粘土を手ひねりして、まず形を作り上げます。  
2回目は、半乾きになったらものを削り、形を整えます。  
3回目は、出来上がりを愛でながら、お薄を楽しみます。

教えるのは陶芸家の山田泰先生です。教えるというより、積極的に手伝っていただき、初めての茶碗は完成します。「そこはもっと大きく削って」「はいちょうどいい厚み」「高台は難しいから僕がやります」という感じで関わり、粘土の中から、あなたの個性を引き出してくださいませ。写真は二木屋主人の茶碗ですが、山田先生との合作です。自分一人ではこうは出来ない。人生の宝物になりました。

- 第1回 11月4日(土) 大まかに形を作り出す。
- 第2回 11月18日(土) 乾いたら形を削り出す。
- 第3回 12月16日(土) 作品引き渡し・お茶会。

※第3回は、お茶会に参加せずにお送りすることもできます。  
※別料金で、桐製のお箱をお作りすることもできます。

各回、15時から17時の2時間

**参加費 全3回 16,500円(税込)**



一山田泰 陶歴一昭和24年 東京に生まれる／昭和49年 京都・岩淵重哉氏に師事／昭和50年 日本工芸会近畿支部展入選(以後4回入選)／昭和57年 埼玉県都幾川村・船ノ沢にて築窯／平成9年 上野松坂屋にて個展開催(以後毎年開催)



第1回は、粘土をヒモ状にして回しながらお茶碗の形にしていきます。自分の作りたい大まかな形がここで決まります。お茶碗は山田先生の工房でちょうど良い硬さまで乾かしたら第2回です。先生の指導で、粘土を削っていきます。どう削れば良い形が現れるか？

素人には分かりませんが、プロには見えるようで、徐々にお茶碗らしい形になっていきます。これを山田先生の窯で焼いたら完成です。

第3回は、作品発表会のお茶会になります。

